

I 昭島市民科〈主権者教育・SDGsの視点に立った教育〉の目的と指導目標

「自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協調して問題解決を図り、豊かな人生を切り拓き、民主的で持続可能な社会の創り手となる人間の育成」を図っていく。〈持続可能な社会づくりの構成概念〉

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
<ul style="list-style-type: none"> ○現実社会の諸課題についての知識・理解 ○情報活用能力 (調べて分析し、まとめる技能) 	<ul style="list-style-type: none"> ○事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断する力 ○諸課題の解決に向けて、協働的に追究し、根拠をもって主張し、合意形成する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○持続可能な社会の実現に向けて主体的に参画しようとする力・態度
<ul style="list-style-type: none"> ○地域や社会・世界に関わる多様な事物・現象を多面的に捉え、問題を見いだすための知識や技能を身に付けている。【多様性】 ○多様な事物・現象を相互に関連付けて問題の解決方法を考えるための知識や技能を身に付けている。【相互性】 ○限りある資源等の中で、解決可能な計画を立てるための知識や技能を身に付けている。【有限性】 	<ul style="list-style-type: none"> ○学びや経験から得たこと、友達の意見などを尊重し、それらを客観的に解釈して、自分の考えを形成できる。【公平性】 ○他者との関わりを通して、自分の考えを深めたり広げたりできる。【相互性】 ○限りある時間や資源を踏まえ、よりよい学びにするための方法を考え、実現することができる。【有限性】 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の学びを活かして、社会や人生をよりよくしていこうとする態度を養う。【公平性】 ○自分の役割や将来を見つめ、自ら進んで学習を振り返りながら、よりよい学びをしていこうとする態度を養う。【責任性】 ○順応したり、調和を図ったりすることの大切さを自覚し、支え合って課題に取り組もうとする態度を養う。【連携性】

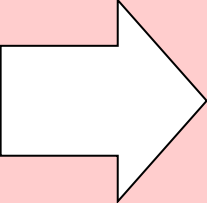
獲得させたい資質・能力

- ① 情報を活用する力〈情報〉
- ② 批判的思考力(自分の考えのプロセスを内省的に吟味・検討すること)〈批判〉
- ③ 未来像を予測して計画を立てる力〈予測〉
- ④ 多面的・総合的に考える力〈多面〉
- ⑤ コミュニケーションを行う力〈伝達〉
- ⑥ 他者と協力する態度〈協力〉
- ⑦ つながりを尊重する態度〈連関〉
- ⑦ 合意形成する力〈相互理解〉
- ⑧ 進んで参画する態度〈参画〉
- ⑨ ベターを目指して意思決定する力〈判断〉
- ⑩ 問題発見・解決する力〈解決〉

II 昭島市民科〈主権者教育・SDGsの視点に立った教育〉における探究過程

<h3>1 情報の収集・分析</h3> <p>○人・社会・自然等から「テーマ」に関する資料を調査・取材したり、実験や体験的活動(ワード化を図る)をしたりして情報を集める。</p> <p>○集めた情報を分類・整理する。</p> <p>☆発達段階に応じて(情報収集・分析)支援する。</p>	<h3>2 学習問題の把握 課題の設定</h3> <p>○分類・整理した情報を比較する。</p> <p>○学習対象との関わり方や出せ方などを工夫する。</p> <p>○「不思議だな!」「どうしてかな?」という疑問や、「びっくりした!」「知らなかった!」という驚きなど、現実の状況と理想の姿との対比(ギャップ)などから学習問題(課題)を発見させる。</p>	<h3>3 仮説・学習計画の設定</h3> <p>○前過程の「1, 2」及び、既習事項・生活経験から、仮説(予想+理由)を設定する。</p> <p>○学習計画(内容・時間)を設定する。</p> <p>☆論理性・整合性のある仮説であること。</p>	<h3>4 情報の収集</h3> <p>○課題の解決に必要な情報を、観察・実験・見学・調査・取材・探索・追体験によって収集する。</p> <p>○収集した場所や相手、期日などを明示して、ポートフォリオやファイルボックス、コンピュータのフォルダなどに蓄積していく。</p> <p>○体験活動では、体験で獲得した情報をレポートなどで言語化(ワード化)して蓄積していく。</p>	<h3>5 整理・分析</h3> <p>・収集した情報を整理・分析して思考する。</p> <p>「より深い分析、確かな根拠付け」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■問題状況における事実や関係を把握し理解する。 ■多様な情報にある特徴を見付ける。 ■事象を比較したり、関連付けたりして課題解決に向けて考える。 <p>○自分が見たこと、人から聞いたこと、図書やインターネット等調べたことなど、だれかの個人的意見、他所からの転用なのか、情報を吟味する。</p> <p>○どのような方法で情報の整理(グラフ化、カード化、マップ等)や分析(比較・分類・序列化・類推、原因や結果に着目して考える)を行うのか、決定する。</p>	<h3>6 まとめ・表現</h3> <p>・情報の整理・分析後、結論を他者に伝え、自分の考え(結論)を内省する。</p> <p>「より論理的で効果的な表現・内省の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■相手や目的に応じて分かりやすくまとめ表現する。 ■学習の進め方や仕方を振り返り、学習や生活に活かそうとする。 <p>○相手・目的意識を明確にして表現する。</p> <p>○まとめ・表現することが、情報を再構成し、考えを深め、新たな課題に気付く。</p> <p>○伝えるための具体的な方法を身に付けるとともに、目的に応じて選択して使えるようになる。</p>
---	---	---	--	---	---

III 昭島市民科〈主権者教育・SDGsの視点に立った教育〉におけるアプローチ ～ Think globally. Act locally. ～

<h3>1 探究する(調べて考える) Scope Think globally</h3> <p>見渡して 調べて 学ぶ(考える)</p> <table border="0"> <tr> <td>第1・2学年 ⇒ 生活圏</td> <td>⇔ (往復運動)</td> <td>コミュニティ</td> </tr> <tr> <td>第3学年 ⇒ 昭島市</td> <td>⇔ (往復運動)</td> <td>コミュニティ</td> </tr> <tr> <td>第4学年 ⇒ 東京都</td> <td>⇔ (往復運動)</td> <td>コミュニティ</td> </tr> <tr> <td>第5学年 ⇒ 日本・国土</td> <td>⇔ (往復運動)</td> <td>コミュニティ</td> </tr> <tr> <td>第6学年 ⇒ 世界・地球</td> <td>⇔ (往復運動)</td> <td>コミュニティ</td> </tr> </table>	第1・2学年 ⇒ 生活圏	⇔ (往復運動)	コミュニティ	第3学年 ⇒ 昭島市	⇔ (往復運動)	コミュニティ	第4学年 ⇒ 東京都	⇔ (往復運動)	コミュニティ	第5学年 ⇒ 日本・国土	⇔ (往復運動)	コミュニティ	第6学年 ⇒ 世界・地球	⇔ (往復運動)	コミュニティ		<h3>2 発達段階(実現可能性)に応じた参画 Act locally</h3> <p>学んだことを活かす(参画する)</p> <table border="0"> <tr> <td>第1・2学年 ⇒ コミュニティ</td> <td rowspan="6">} ①「いつ・どこで・だれが・誰(何)に対して、どうする?」 ②「その結果(①)、どうなる?」 ③「『Win-Win』の関係が構築できるのか?」</td> </tr> <tr> <td>第3学年 ⇒ コミュニティ</td> </tr> <tr> <td>第4学年 ⇒ コミュニティ</td> </tr> <tr> <td>第5学年 ⇒ コミュニティ</td> </tr> <tr> <td>第6学年 ⇒ コミュニティ</td> </tr> <tr> <td>第6学年 ⇒ コミュニティ</td> </tr> </table> <p>※発達段階に応じてコミュニティの範囲は異なる。</p>	第1・2学年 ⇒ コミュニティ	} ①「いつ・どこで・だれが・誰(何)に対して、どうする?」 ②「その結果(①)、どうなる?」 ③「『Win-Win』の関係が構築できるのか?」	第3学年 ⇒ コミュニティ	第4学年 ⇒ コミュニティ	第5学年 ⇒ コミュニティ	第6学年 ⇒ コミュニティ	第6学年 ⇒ コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 情報提供・広報(啓発) <input type="checkbox"/> イベント・事業の開発 <input type="checkbox"/> 奉仕活動(地域貢献活動) <input type="checkbox"/> 日常生活の改善(行動変容) <input type="checkbox"/> 住民・関係諸機関等への提案 <input type="checkbox"/> その他()
第1・2学年 ⇒ 生活圏	⇔ (往復運動)	コミュニティ																							
第3学年 ⇒ 昭島市	⇔ (往復運動)	コミュニティ																							
第4学年 ⇒ 東京都	⇔ (往復運動)	コミュニティ																							
第5学年 ⇒ 日本・国土	⇔ (往復運動)	コミュニティ																							
第6学年 ⇒ 世界・地球	⇔ (往復運動)	コミュニティ																							
第1・2学年 ⇒ コミュニティ	} ①「いつ・どこで・だれが・誰(何)に対して、どうする?」 ②「その結果(①)、どうなる?」 ③「『Win-Win』の関係が構築できるのか?」																								
第3学年 ⇒ コミュニティ																									
第4学年 ⇒ コミュニティ																									
第5学年 ⇒ コミュニティ																									
第6学年 ⇒ コミュニティ																									
第6学年 ⇒ コミュニティ																									